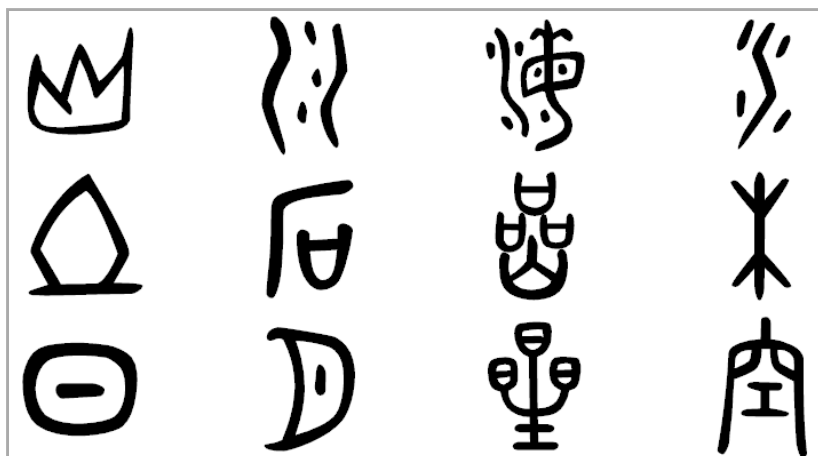


# 漢字音読名人

《 4 年 》



2 学期

名前

東書配列

## 「漢字音読名人」の進め方

表のページは練習に使います。裏うらのページは、友達ともだちとの聞き合いに使います。

一漢字ずつ、読めるようにしていきましょう。

①まず、表のページで読む練習をします。

・何度も声に出して読み、――を引いた漢字のふりがなを見ないで読めるようになるまで練習します。  
線の引いていない漢字は上の学年で習う漢字ですから、ふりがなを見ながら読んでもいいです。

★意味の分からない言葉があつたら、必ず先生かならに聞きましょう。

②線を引いた漢字が、ふりがなを見なくても読めるようになったら裏うらのページでチャレンジします。

・友達だちに聞いてもらい、正しく読めていたら、サインをしてもらい、次の漢字に進みます。

・先生が決めたゴールの漢字まで進んだら、元にもどって、二回目にチャレンジ。

・三回目もゴールまで進み、サインが三つそろったら、「音読名人」です。次のゴールをめざしてがんばりましょう。

## 願

「祈願」とは

願いを込めて祈ること



□ よろしくお願いします。



□ 豊年を神に願う春祭り。



□ 平和は人類全ての願望だ。



## 付

雑誌の付録に

付いていたおもちゃ



□ 紙に折り目を付ける。



□ 指の付け根が痛い。



□ 公園の付近に咲いていた花。



## 協

赤い羽根共同募金

に協力する



□ 学級目標について協議する。



□ 交通安全協会って何してるの？



□ 耳障りな不協和音ラドミ。



## 願

「祈願」とは

願いを込めて祈ること



□ よろしくお願ひします。



□ 豊年を神に願う春祭り。



□ 平和は人類全ての願望だ。



## 付

雑誌の付録に

付いていたおもちゃ



□ 紙に折り目を付ける。



□ 指の付け根が痛い。



□ 公園の付近に咲いていた花。



## 協

赤い羽根共同募金

に協力する



□ 学級目標について協議する。



□ 交通安全協会って何してるの？



□ 耳障りな不協和音ラドミ。

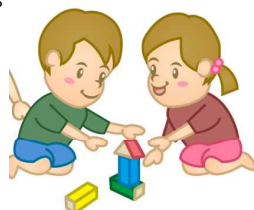


## 積

雪降り積もり

積雪量が過去最高


☐ 倉庫に荷物を積み上げる。

☐ 弟と積み木で遊ぶ。

☐ この土地の面積を調べる。


## 夫

夫と妻

夫婦で仲良く沖縄旅行


☐ 夫も科学者のキュリー夫人。

☐ 大丈夫だから心配しないで。

☐ 一挙両得、漁夫の利。


## 以

六歳以上

十二歳以下は小学生


☐ 以前はこの辺は田んぼだった。

☐ 駅まで五分以内で行ける。

☐ 関係者以外は立ち入り禁止だ。


積

雪降り積もり

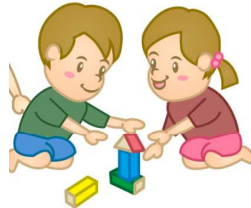
積雪量が過去最高



□ 倉庫に荷物を積み上げる。



□ 弟と積み木で遊ぶ。



□ この土地の面積を調べる。



夫

夫と妻

夫婦で仲良く沖縄旅行



□ 夫も科学者のキュリー夫人。



□ 大丈夫だから心配しないで。



□ 一挙兩得、漁夫の利。



以

六歳以上

十二歳以下は小学生



□ 以前はこの辺は田んぼだった。



□ 駅まで五分以内で行ける。



□ 関係者以外は立ち入り禁止だ。





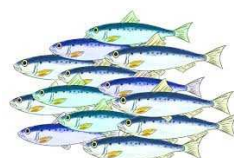
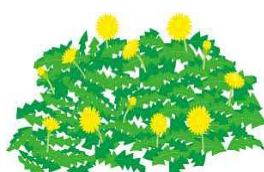
## 議

学級会  
がっきゅうかい議案について議論する  
ぎあん ぎろん□ 会議を開いて話し合う。  
かいぎ ひら はな あ□ 国会議員の選挙が行われる。  
こっかいぎいん せんきょ おこな□ 世にも不思議な物語を聞く。  
よ ふしぎ ものがたり き

## 標

放送は  
ほうそう方言でなく標準語で話す  
ほうげん ひょうじゅんご はな□ 目標に向かって努力する。  
もくひょう む とりよく□ 植物の標本を作る。  
しよくぶつ ひょうほん つく□ 標高三千メートルの高山。  
ひょうこうさんぜん たか やま

## 群

砂糖に群がる  
さとう むら蟻の群  
あり たいぐん□ 仲間と群れになって泳ぐイワシ。  
なかま む およ□ タンポポが群生している。  
たんぽぽ ぐんせい□ 群馬県の特産品はこんにやく。  
ぐんまけん とくさんひん

## 議

学級会

議案について議論する



□ 会議を開いて話し合う。

□ 国会議員の選挙が行われる。



□ 世にも不思議な物語を聞く。



## 標

放送は

方言でなく標準語で話す



□ 目標に向かって努力する。

□ 植物の標本を作る。



□ 標高三千メートルの高い山。



## 群

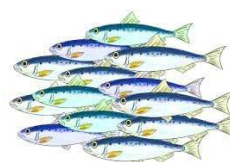
砂糖に群がる

蟻の大量



□ 仲間と群れになって泳ぐイワシ。

□ タンポポが群生している。



□ 群馬県の特産品はこんにやく。





## 郡

町<sup>まち</sup>や村<sup>むら</sup>が集<sup>あつ</sup>まって  
郡<sup>ぐん</sup>になる



□都会<sup>とかい</sup>から離<sup>はな</sup>れた郡<sup>ぐん</sup>部の農<sup>のう</sup>村<sup>そん</sup>。



□犬上<sup>いぬかみぐん</sup>郡・愛知<sup>えち</sup>郡・蒲生<sup>がもう</sup>郡。

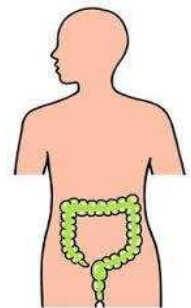


□町<sup>まち</sup>の合<sup>がっ</sup>併<sup>ぺい</sup>で消<sup>き</sup>えた郡<sup>ぐん</sup>もある。

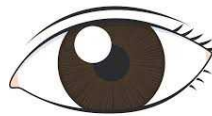


## 官

大腸<sup>だいちよう</sup>は  
消化<sup>しょうか</sup>器<sup>き</sup>官<sup>かん</sup>の<sup>ひと</sup>一つです



□目<sup>め</sup>は物<sup>もの</sup>を<sup>み</sup>見る働<sup>はたら</sup>きをする器<sup>き</sup>官<sup>かん</sup>。



□警察<sup>けいさつ</sup>官<sup>かん</sup>が市<sup>し</sup>内<sup>ない</sup>を<sup>みまわ</sup>る。



□世界<sup>せかい</sup>各<sup>かく</sup>国<sup>こく</sup>で働<sup>はたら</sup>く外<sup>がい</sup>交<sup>こう</sup>官<sup>かん</sup>。

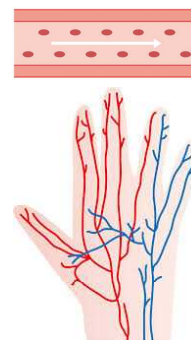


## 管

水<sup>すい</sup>道<sup>どう</sup>管<sup>かん</sup>  
水<sup>みず</sup>を<sup>とお</sup>通<sup>と</sup>す管<sup>くだ</sup>のこと



□血<sup>けつ</sup>液<sup>えき</sup>の通<sup>とお</sup>る管<sup>くだ</sup>が血<sup>けつ</sup>管<sup>かん</sup>。



□お金<sup>かね</sup>を金<sup>きん</sup>庫<sup>こ</sup>に保<sup>ほ</sup>管<sup>かん</sup>する。



□自<sup>じ</sup>分<sup>ぶん</sup>の持<sup>も</sup>ち物<sup>もの</sup>は自<sup>じ</sup>分<sup>ぶん</sup>で管<sup>かん</sup>理<sup>り</sup>。



# 郡

町や村が集まって  
郡になる



□都会から離れた郡部の農村。



□犬上郡・愛知郡・蒲生郡。



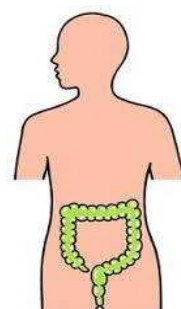
□町の合併で消えた郡もある。



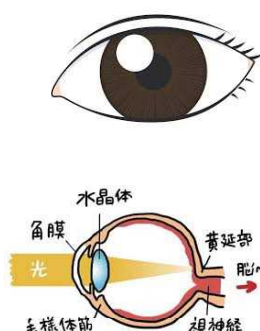
# 官

大腸は

消化器官の一つです



□目は物を見る働きをする器官。



□警察官が市内を見回る。



□世界各国で働く外交官。



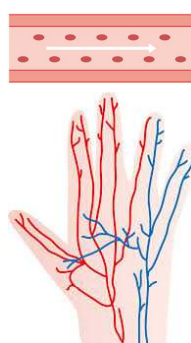
# 管

水道管

水を通す管のこと



□血液の通る管が血管。



□お金を金庫に保管する。



□自分の持ち物は自分で管理。



富

豊富な石油資源で

富を築いた中東の国々



黒部ダムで有名な富山県。



四季の変化に富む日本の風土。



富士山は休火山だ。



徒

駅から徒歩で

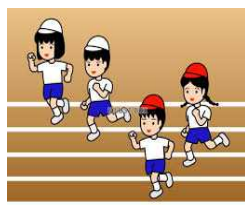
高校に通う生徒たち



兄は中学校の生徒会長だ。



運動会の徒競走に出場する。



今までの努力が徒労に終わる。



浴

海水浴

泳いだ後でシャワーを浴びる



日の光を浴びてくつろぐ。



温泉の大浴場に入る。



森に入って森林浴をする。



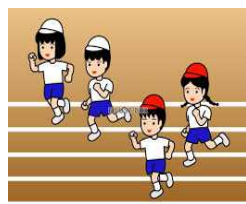
富

豊富<sup>ほう</sup>な石油<sup>しげん</sup>資源<sup>しげん</sup>で富<sup>きず</sup>を築<sup>きず</sup>いた中東<sup>きず</sup>の国々

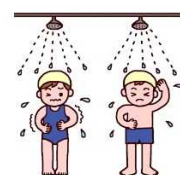
黒部ダムで有名な富山県。

四季<sup>しき</sup>の变化<sup>へんか</sup>に富<sup>ふ</sup>む日本<sup>にっぽん</sup>の風土<sup>ふうど</sup>。富士山<sup>ふじさん</sup>は休火山<sup>しゅうかざん</sup>だ。

徒

駅<sup>えき</sup>から徒歩<sup>とほ</sup>で高校<sup>こうこう</sup>に通<sup>とほ</sup>う生徒<sup>せいと</sup>たち兄<sup>あに</sup>は中学校<sup>ちゅうがっこう</sup>の生徒<sup>せいと</sup>会長<sup>かいちょう</sup>だ。運動会<sup>うんどうかい</sup>の徒競走<sup>とけいそう</sup>に出場<sup>しゅつじょう</sup>する。今<sup>いま</sup>までの努力<sup>どりょく</sup>が徒勞<sup>とらう</sup>に終<sup>は</sup>わる。

浴

海水浴<sup>かいすいよく</sup>泳<sup>およ</sup>いだ後<sup>のち</sup>でシャワーを浴<sup>よく</sup>びる日<sup>ひ</sup>の光<sup>ひかり</sup>を浴<sup>よく</sup>びてくつろぐ。温泉<sup>せん</sup>の大浴場<sup>だいよくじょう</sup>に入<sup>い</sup>る。森<sup>もり</sup>に入<sup>い</sup>って森林浴<sup>しんりんよく</sup>をする。



## 街

街角を

明るく照らす街灯



□ 街全体の様子を

□ 駅前商店街の大売り出し。



□ 江戸と京都を

街道、東海道。



## 灯

灯台の灯を

頼りに船が進む



□ 街灯に灯がともる。

□ もう消灯の時間だから寝よう。



□ 灯台下暗し。



## 拳

手を挙げることを

「挙手」という



□ 理由や事例を挙げて説明する。

□ 代表候補に名前が挙がる。



□ 学級委員選挙の投票をする。





98

街

街角を

明るく照らす街灯



サイン

□街全体の様子を知る。



□駅前商店街の大売り出し。



□江戸と京都を結ぶ

街道、東海道。



99

灯

灯台の灯を

頼りに船が進む



サイン

□街灯に灯がともる。



□もう消灯の時間だから寝よう。



□灯台下暗し。



100

挙

手を挙げることを

「挙手」という



サイン

□理由や事例を挙げて説明する。



□代表候補に名前が挙がる。



□学級委員選挙の投票をする。



## 票

だいいひよういせん  
代表委員の選挙

だれとうひよう  
誰に投票しようかな



せんきよかいひようけつ  
選挙の開票結果を聞く。



とくひようすういちばんおほひと  
得票数の一番多い人を選ぶ。



かねだし入れをかくてんひよう  
お金の出し入れを書く伝票。



## 卒

ろくねんかん  
六年間の

まなおそつぎようしき  
学びを終えて卒業式



ほいくえんようちえんそつえん  
保育園・幼稚園を卒園する。



だいがくでしんそつせんせい  
大学を出たての新卒の先生。



めそつとう  
目まいがして卒倒した。



## 貨

にもつ  
荷物を積んだ

かもつれっしやとおす  
貨物列車が通り過ぎた



ひゃつかてんふく  
百貨店へ服を買いに行った。



ゆにゅうざつかあつかみせ  
輸入雑貨を扱うお店。



きんかぎんか  
金貨、銀貨などのお金は硬貨。



101

サイン

票

代表委員の選挙

だれ  
誰に投票しようかな

□選挙の開票結果を聞く。



□得票数の一番多い人を選ぶ。



□お金の出し入れを書く伝票。



102

サイン

卒

六年間の

学びを終えて卒業式



□保育園・幼稚園を卒園する。



□大学を出たての新卒の先生。



□目まいがして卒倒した。



103

サイン

貨

荷物を積んだ

貨物列車が通り過ぎた



□百貨店へ服を買いに行った。



□輸入雑貨を扱うお店。



□金貨、銀貨などのお金は硬貨。



## 沖

沖縄県  
おきなわけん珊瑚の海とシーサー・ゴーヤ  
さんご うみ

□ 沖縄県は台風の通り道だ。  
おきなわけん たいふう の とおり みち



□ 岸から遠く離れた沖合。  
きし とお はな おきあい



□ 海の方に見え。  
うみ おき ほう ふね み



## 戦

戦争は  
せんそう国と国との戦いだ  
くに くに たたか

□ 決勝戦で戦う相手は強敵だ。  
けつしょうせん たたか あいて きょうてき



□ 昼休みに雪合戦をする。  
ひるやす ゆきがっせん



□ 昭和二十年太平洋戦争終結。  
しやうわ にじゅうねんたいへいようせんそうしゅうけつ



## 争

一着を争い  
いつちやく あらそチームで競争  
きようそう

□ 言い争いをやめ、仲良くする。  
い あらそ なかよ



□ 一点差で勝ち負けを争う。  
いってんさ か ま あらそ



□ もめ事の争点を整理する。  
もめごと そうてん せいり





104

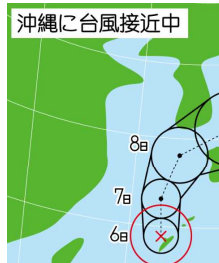
沖

沖縄県

珊瑚の海とシーサー  
ゴーヤ

サイン

□沖縄県は台風の通り道だ。



□岸から遠く離れた沖合。



□海の方に見え。



105

戦

戦争は

国と国との戦いだ



サイン

□決勝戦で戦う相手は強敵だ。



□昼休みに雪合戦をする。



□昭和二十年太平洋戦争終結。



終戦記念日

106

争

一着を争い

チームで競争



サイン

□言い争いをやめ、仲良くする。



□一点差で勝ち負けを争う。



□もめ事の争点を整理する。





給

腹減った

今日の給食

何だろう



昔は自給自足の生活だった。

働いて給料をもらう。



戦争中の食糧は配給だった。



飯

昼飯は

ご飯を握った握り飯



昼食に焼き飯を食べる。

今夜の夕ご飯はカレーだ。



こんな問題簡単、朝飯前だ。



帯

砂漠地帯

赤みを帯びた土ばかり



着物の帯を結ぶ。



携帯電話を持ち歩く。



包帯を巻き、けがの手当て。



給

はらへ  
腹減った

今日の給食

何だろう

給食当番



□昔は自給自足の生活だった。



□働いて給料をもらう。



□戦争中の食べ物は配給だった。



飯

昼飯は

ご飯を握った握り飯



□昼食に焼き飯を食べる。



□今夜の夕ご飯はカレーだ。



□こんな問題簡単、朝飯前だ。



帯

さばく  
砂漠地帯

赤みを帯びた土ばかり



□着物の帯を結ぶ。



□携帯電話を持ち歩く。

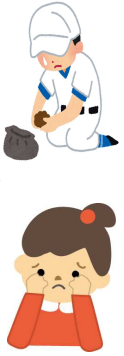


□包帯を巻き、けがの手当て。



## 泣

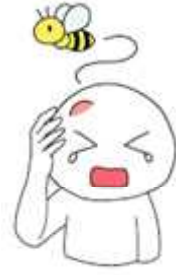
号泣する選手を見ていて  
もらい泣き



赤ん坊が泣く声がする。



泣きつ面にハチ。



つらくても泣き顔は見せない。



## 軍

兵隊の集まりが軍隊  
戦争をする船が軍艦



昔は日本にも軍隊があった。



召集され、陸軍の兵士になる。



軍手をはめて花壇の花植え。



## 兵

戦争で  
たくさんの兵士が死んだ



戦で戦う人を兵隊という。



原子爆弾は恐ろしい兵器だ。



姫路城のある兵庫県。



110

泣

号泣する選手を見ていて  
もらい泣き



サイン

□赤ん坊が泣く声がする。



□泣きつ面にハチ。



□つらくても泣き顔は見せない。



111

軍

兵隊の集まりが軍隊  
戦争をする船が軍艦



サイン

□昔は日本にも軍隊があつた。



□召集され、陸軍の兵士になる。



□軍手をはめて花壇の花植え。



112

兵

戦争で  
たくさんの兵士が死んだ



サイン

□戦で戦う人を兵隊という。



□原子爆弾は恐ろしい兵器だ。



□姫路城のある兵庫県。





113

隊  
たいれつ

隊  
たいれつ

隊列を  
たいれつを

組んで行進  
くんでこうしん

鼓笛隊  
こてきたい



兵隊が整列している。  
へいたいがせいれつしている。



ヒマラヤ登山隊が結成された。  
ひまらやとうざんたいがけっせいされた。



南極観測隊の隊長。  
なんきょくかんそくたいのたいちよう。



114

輪  
りん

輪  
りん

輪が五つ  
りんがいつ

五輪のマークはオリンピック  
ごりんのまーくはオリンピック



大根を輪切りにする。  
だいこんをりんぎにする。



自転車の車輪を回す。  
じてんしゃのしゃりんをまわす。



梅の花が一輪咲いた。  
うめのはながいちりんさいた。



115

景  
けい

景  
けい

景気よく火花が上がり  
けいきよくはなびあがり

美しい景色  
うつくしいけしき



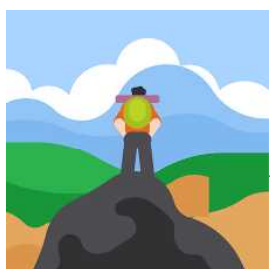
田園の美しい情景を描いた絵。  
でんえんのうつくしいじやうけいをえがいたえ。



くじ引きの景品をもらう。  
くじびきのけいひんをもらう。



広々とした山頂からの景観。  
ひろびろとしたさんちようからのけいかん。





113

サイン

隊

隊列を

組んで行進

鼓笛隊



□ 兵隊が整列している。



□ ヒマラヤ登山隊が結成された。



□ 南極観測隊の隊長。



114

サイン

輪

輪が五つ

五輪のマークはオリンピック



□ 大根を輪切りにする。



□ 自転車の車輪を回す。



□ 梅の花が一輪咲いた。



115

サイン

景

景気よく花火が上がり

美しい景色



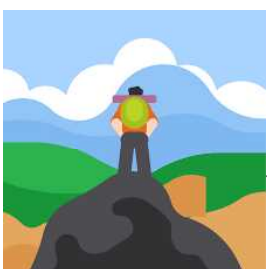
□ 田園の美しい情景を描いた絵。



□ くじ引きの景品をもらう。



□ 広々とした山頂からの景観。



## 浅

川底が

深いと思ったら浅かった



□練習を始めてまだ日が浅い。

□川の浅瀬でカニを見つけた。



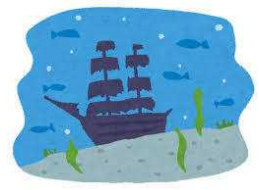
□日に焼けて浅黒い顔になる。



## 底

船の底に穴が開き

海底に沈んだ

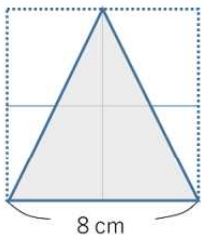


□底無しに食べる大食いの弟。

□今朝は底冷えがする寒さだ。



□三角形の底辺の長さを測る。



## 散

落ち葉散る

公園の中

散歩する



□部屋中にゴミが散らかっている。

□校外学習が終わり解散する。



□運動してストレスを発散する。



116

浅

川底が

深いと思|ったら浅|かった



サイン

□練習|を始|めてまだ日|が浅|い。

□川|の浅|瀬<sup>せ</sup>でカニ|を見|つけた。

□日|に焼|けて浅|黒|い顔|になる。



117

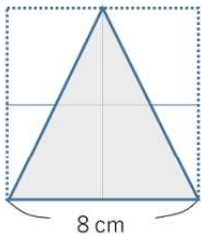
底

船|の底|に穴<sup>あな</sup>が開|き海底|に沈<sup>しず</sup>んだ

サイン

□底|無し|に食|べる大食|いの弟|。

□今|朝|は底|冷え|がする寒|さだ。

□三|角|形|の底|辺|の長|さを測<sup>はか</sup>る。

118

散

落|ち葉|散|る

公|園|の中|

散|歩|する



サイン

□部|屋|中|にごみ|が散|らか|っている。

□校|外|学|習|が終|わり解|散<sup>かい</sup>する。

□運|動|してス|ト|レス|を発|散|する。



## 見

児童 園児

「見」は子ども



□ 児童会で遊びの約束を決める。

□ 甲子園に出場した高校球児。



□ 子どもの病気を診る小児科。



## 衣

もう夏だ

涼しい衣服に衣替え



□ 天女の羽衣伝説が伝わる湖。

□ 生活の基本は衣食住。



□ この秋は衣料品がよく売れた。



## 置

置く位置を

よく確かめて設置する



□ 物置小屋に大工道具を置く。

□ 部屋の家具の配置を変える。



□ 自転車を路上に放置しない。





## 見

児童 園見

「見」は子ども



□児童会で遊びの約束を決める。



□甲子園に出場した高校球児。



□子どもの病気を診る小児科。



## 衣

もう夏だ

涼しい衣服に衣替え



□天女の羽衣伝説が伝わる湖。



□生活の基本は衣食住。



□この秋は衣料品がよく売れた。



## 置

置く位置を

よく確かめて設置する



□物置小屋に大工道具を置く。



□部屋の家具の配置を変える。



□自転車を路上に放置しない。





## 差

二十と十五

その差はいくつ？

$$20 - 15 = ?$$

□ 雲の切れ間から日が差す。



□ 大差で試合に負けた。



□ 交差点の信号が赤になる。



## 節

竹の節・骨の関節

「節」は、区切り・つながり目



□ 寒いと体の節々が痛い。



□ イスの高さを調節する。



□ 節分の豆まき、鬼は外、福は内。



## 単

長さの単位はメートルで

重さの単位はキログラム



□ 簡単な方法でケーキを作った。



□ 単語の意味を辞書で調べる。



□ 単三の電池で動くリモコン。



122

サイン

差

二十と十五

その差はいくつ？

$$20 - 15 = ?$$

□雲の切れ間から日が差す。



□大差で試合に負けた。



□交差点の信号が赤になる。



123

サイン

節

竹の節・骨ほねの関節

「節」は、区切り・つながり目

□寒いと体の節々いたが痛い。

□イスの高さを調節する。

□節分の豆まき、鬼おには外、福は内。

124

サイン

単

長さの単位はメートルで

重さの単位はキログラム

□簡単かんな方法でケーキを作った。

□単語の意味を辞書で調べる。



□単三の電池で動くリモコン。



栄

栄枯とは

栄えたり

衰えたりすること



□ 昔は市場で栄えていた町。

□ 大豆は栄養満点の食べ物だ。



□ 代表に選ばれ、大変光栄です。



養

栄養を

しっかり摂って

体力を養う

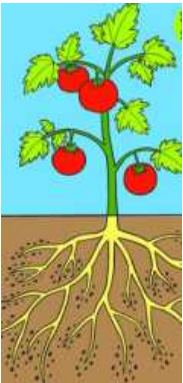


□ 子を養うために働く親。

□ 温泉に入って休養する。



□ 植物は根から養分を吸う。



塩

食塩を

入れすぎちゃって塩辛い



□ 料理に塩で味を付ける。

□ 昔は塩田で塩を作っていた。



□ 塩分の摂り過ぎは体に悪い。



125

サイン

栄

栄枯とは

栄えたり

衰えたりすること



□昔は市場で栄えていた町。



□大豆は栄養満点の食べ物だ。



□代表に選ばれ、大変光栄です。



126

サイン

養

栄養を

しっかり摂って

体力を養う



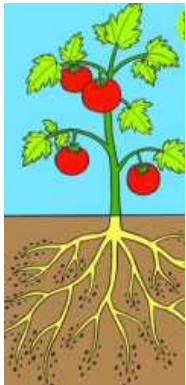
□子を養うために働く親。



□温泉に入って休養する。



□植物は根から養分を吸う。



127

サイン

塩

食塩を

入れすぎちゃって塩辛い



□料理に塩で味を付ける。



□昔は塩田で塩を作っていた。



□塩分の摂り過ぎは体に悪い。





# 無

さいふ  
財布には一円も無い  
むいちもん  
無一文



むり  
無理をしないで休みましょう。



みず  
水は無色。色が無い。



こうがい  
校外学習も無事に終わった。



# 産

あか  
赤ちゃんを産む  
しゅさん  
ことを「出産」という



とり  
鳥が巣を作って卵を産む。



にほん  
日本は自動車産業が盛んだ。



ちさん  
地産地消の食材を使う。



# 省

いちぶぶん  
一部分  
はぶ  
省くことが「省略」です



じぶん  
自分のしたことを反省する。



おかあ  
お母さんの実家に帰省する。



もんぶ  
文部科学省、略して文科省。



128

**無**さいふ  
財布には一円も無い

無一文



□無理をしないで休みましょう。



□水は無色。色が無い。



□校外学習も無事に終わった。

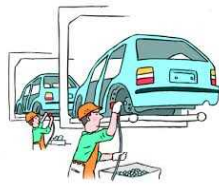


129

**産**

赤ちゃんを産む

ことを「出産」という

□鳥が巣を作って卵を産む。  
たまご□日本は自動車産業が盛んだ。  
さか

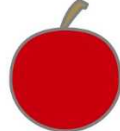
□地産地消の食材を使う。



130

**省**

一部分

省くことが「省略」です  
りやく

□自分のしたことを反省する。



□お母さんの実家に帰省する。

□文部科学省、略して文科省。  
りやく

## 照

室内を

明るく照らす照明器具



□日照りが続き水不足になる。



□夏の太陽が照りつける。



□冬は日照時間が短い。



## 祝

祝日は

国で決めたお祝いの日



□入学祝いのランドセル。



□新しい門出を祝福する。



□お祝いの言葉を祝辞という。



## 試

実力を

試してみるのが試験です



□新しい服を試しに着てみる。



□今度は別の方法を試みよう。



□試合に負けて半泣きになる。



131

照

室内を

明るく照らす照明器具



サイン

□日照りが続き水不足になる。



□夏の太陽が照りつける。



□冬は日照時間が短い。



132

祝

祝日は

国で決めたお祝いの日



サイン

□入学祝いのランドセル。



□新しい門出を祝福する。



□お祝いの言葉を祝辞という。



133

試

実力を

試してみるのが試験です



サイン

□新しい服を試しに着てみる。



□今度は別の方法を試みよう。



□試合に負けて半泣きになる。





## 熊

手まり歌

あんたがたどこさ

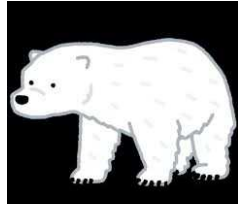
熊本さ



熊手で落ち葉をかき集める。



北極熊は真っ白だ。



山中に熊がいて悲鳴を上げた。



## 鹿

鹿児島県

桜島は活火山



鹿児島の特産品はさつまいも。



バンビという名前の子鹿。



鹿の頭には立派な角がある。



## 残

残飯が残らぬ

ように全部食べ



給食を食べきれずに残す。



君の温かい言葉が心に残る。



残念ながら失敗してしまった。



134

熊

手まり歌

あんたがたどこさ

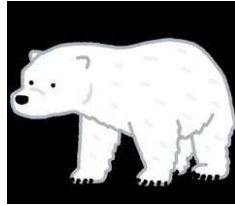
熊本さ



□熊手で落ち葉をかき集める。



□北極熊は真っ白だ。



□山中に熊がいて悲鳴を上げた。



135

鹿

鹿児島県

桜島は活火山



□鹿児島の特産品はさつまいも。



□バンビという名前の子鹿。



□鹿の頭には立派な角がある。



136

残

残飯が残らぬ

ように全部食べ



□給食を食べきれずに残す。



□君の温かい言葉が心に残る。

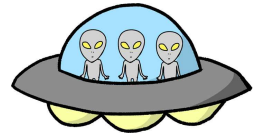


□残念ながら失敗してしまった。



不

暗闇で不気味に光る  
不思議な物体



□ うまく行くか不安だ。



□ 不器用で工作は苦手だ。

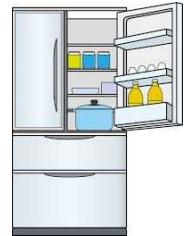


□ 交通が不便な土地に住む。



冷

冷蔵庫  
麦茶を入れて冷たく冷やす



□ 熱いお湯を冷めます。



□ 空は暗く、風も冷たくなった。



□ 寒冷前線が南下し天候悪化。



低

低い声なので  
低音のパートを歌う



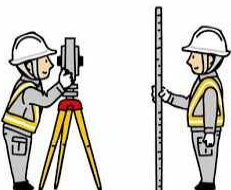
□ 妹は僕より背が低い。



□ 低学年に紹介する本を選ぶ。



□ 土地の高低を測る。



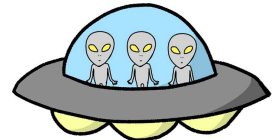
137

サイン

不

暗闇<sup>やみ</sup>で不気味に光る

不思議な物体



□うまく行くか不安だ。



□不器用で工作は苦手だ。



□交通が不便な土地に住む。



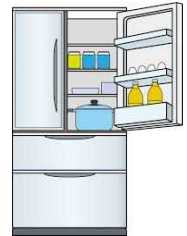
138

サイン

冷

冷蔵庫<sup>ぞう</sup>

麦茶を入れて冷たく冷やす



□熱いお湯を冷めます。



□空は暗く、風も冷たくなった。



□寒冷前線が南下し天候悪化。



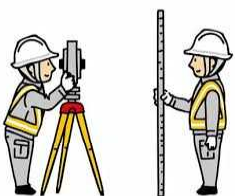
139

サイン

低

低い声なので

低音のパートを歌う

□妹は僕<sup>ぼく</sup>より背<sup>せ</sup>が低い。□低学年<sup>しょうかい</sup>に紹介する本を選ぶ。□土地の高低<sup>はか</sup>を測る。



140

満

月が満ち

今夜は満月

十五夜だ



満々満々満々満々

□ コップに水を満たす。



□ テストは百点満点だった。



□ 僕は、こんな成績では不満だ。



141

未

未だに完成しない

未完成のビル



ニキ未

□ 百年後の未来を想像する。



□ 夏休みの予定はまだ未定だ。



□ 月は未知の世界だ。



142

老

年老いて

目も耳も老化した



十土老老

□ 電車で老人に席を譲る。



□ 古いお寺には老木が多い。



□ 年老いた人を敬う敬老の日。



140

サイン

満

月が満ち

今夜は満月

十五夜だ



□コップに水を満たす。



□テストは百点満点だった。



□僕は、こんな成績では不満だ。



141

サイン

未

未だに完成しない

未完成のビル



□百年後の未来を想像する。



□夏休みの予定はまだ未定だ。



□月は未知の世界だ。



142

サイン

老

年老いて

目も耳も老化した



□電車で老人に席を譲る。



□古いお寺には老木が多い。



□年老いた人を敬う敬老の日。



## 良

良いことを

しようとする心が良心



□ 僕らは仲良し三人組だ。



□ 不具合を直して改良する。



□ 早寝早起で体調は良好だ。



## 陸

南極大陸

海から陸に上がるペンギン



□ 飛行機が空港に着陸した。



□ 陸上競技の百メートル走。



□ 船から下りて無人島に上陸。



## 改

悪いところを改めて

より良いものに改良する



□ 年が改まりお正月を迎える。



□ 生活を改善して無駄を省く。



□ 話の切れ目で文を改行する。

雨が降り続いた其の間、ごんは外編も出られなくて、あなの中にしやがんでいました。  
雨が上ると、ごんは、ほっとしてあなからはい出しました。

143

良

良いことを

しようとする心が良



□ 僕<sup>ぼく</sup>らは仲良し三人組だ。



□ 不具合<sup>ふぐあい</sup>を直して改良する。



□ 早寝早起<sup>ね</sup>で体調は良好だ。



144

陸

南極大陸

海から陸に上がるペンギン



□ 飛行機が空港に着陸した。



□ 陸上競技<sup>ぎ</sup>の百メートル走。



□ 船から下りて無人島に上陸。



145

改

悪いところを改めて

より良いものに改良する



□ 年が改まりお正月<sup>むか</sup>を迎える。



□ 生活を改善<sup>ぜん</sup>して無駄<sup>だ</sup>を省く。



□ 話の切れ目で文を改行する。

雨が降り続いた其の間、ごんは外編も出られなくて、あなの中にしやがんでいました。  
雨が上がると、ごんは、ほっとしてあなからはい出しました。





146

# 城

湖に浮かぶ城  
といわれた「湖城彦根城」



サイン

安土城の城跡に立つ。

江戸城の城下町だった東京。

東北地方にある宮城県。



147

# 辺

岸辺の周辺に  
水鳥の群れ



サイン

海辺で魚釣りをしている。

夕方になり辺りが暗くなる。

辺の長さが全て等しい正方形。



148

# 菜

菜園に  
菜の花が咲いていた



サイン

菜種から食用油が採れる。

野菜にはいろんな栄養がある。

白菜を使った鍋料理が好きだ。



## 井

福井県  
ふくいけん恐竜の化石で有名だ  
きょうりゆう  
かせき  
ゆうめい井戸から水をくみ上げる。  
いど  
みず  
あ天井裏をねずみが走る。  
てんじょううら  
はし井の中の蛙大海を知らず。  
い  
なか  
かわず  
たいかい

されど空の

深さを知る。  
ふか  
し

## 松

門松は  
かどまつ松竹梅を飾ります  
しょうちくばい  
かざ海岸の松林を歩く。  
かいがん  
まつばやし  
ある足の骨を折って松葉杖を使う。  
あし  
ほね  
お  
まつばづえ  
つか松茸を二、三本持つていく。  
まつたけ  
に  
さんぽんも

## 側

右側の  
みぎがわ側面のドア開けてみた  
そくめん  
あ南側の窓を開けましょう。  
みなみがわ  
まど  
あ外側は黒く内側は赤い器。  
そとがわ  
くろ  
うちがわ  
あか  
うつわ無口な友の意外な側面を知る。  
むくち  
とも  
い  
がい  
そくめん  
し

149

井

福井県

恐竜の化石で有名だ



□井戸から水をくみ上げる。

□天井裏をねずみが走る。



□井の中の蛙大海を知らず。

されど空の  
深さを知る。

150

松

門松は

松竹梅を飾ります



□海岸の松林を歩く。

□足の骨を折って松葉杖を使う。



□松茸を二、三本持っていく。



151

側

右側の

側面のドア開けてみた

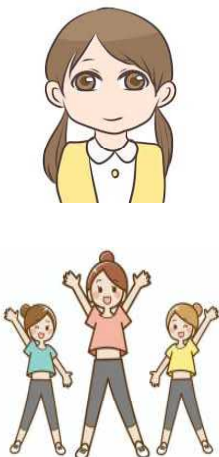


□南側の窓を開けましょう。

□外側は黒く内側は赤い器。



□無口な友の意外な側面を知る。





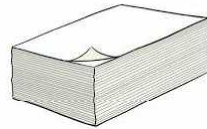
## 念

念入りに

準備して撮る記念写真



□念のため別の紙を用意する。



□念ずれば通ず。



□試合に負けて残念だ。



## 縄

沖縄県で

縄文時代の土器発見



□サンゴの海が美しい沖縄県。



□休み時間に縄跳びをした。



□縄張り争いをする猿の群れ。



## 固

水が凍って固くなり

液体から固体になった



□固い石で打ち付ける。



□栗を固めて土間に置く。



□動かないようロープで固定する。



152

念

念入りに

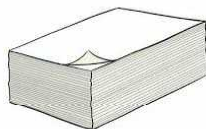
準備して撮る記念写真



サイン

□念のため別の紙を用意する。

□念ずれば通ず。



□試合に負けて残念だ。



153

縄

沖縄県で

縄文時代の土器発見



サイン

□サンゴの海が美しい沖縄県。



□休み時間に縄跳びをした。



□縄張り争いをする猿の群れ。



154

固

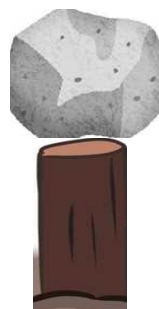
水が凍って固くなり

液体から固体になった



サイン

□固い石で打ち付ける。



□栗を固めて土間に置く。



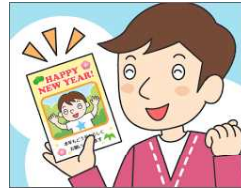
□動かないようロープで固定する。



155

ツカカ加加賀賀賀

賀

年賀状  
ねんがじょう賀は「喜び祝う」という意味だ  
が うれしむす いわ いみ
☐ お正月に年賀状が届いた。  
しやうがつ ねんがじょう とど

☐ 佐賀県、滋賀県よく似てる。  
さがけん ししがけん に

☐ 開校百周年を祝う祝賀会。  
かいこうひゃくしゅうねん いわ しゅくがかい


156

十生青青青静静

静

静物画  
せいぶつが心静かに眺めます  
こころしず なが
☐ 静かな秋の夜、読書に親しむ。  
しず あき よる びくしょ した

☐ 台風が去り、風が静まる。  
たいふう かり かせ しず

☐ 落ち着いて冷静に判断する。  
おちついて れいせい はんだん


157

リ月月用周

周

マラソンで

走って一周 校舎の周り  
はし いっしゅう こうしゃ まわ
☐ 先生の机の周りに集まる。  
せんせい つくえ まわ あつ

☐ 家の周囲は静かだ。  
いえ しゅうい しず

☐ 駅の周辺にたくさん店がある。  
えき しゅうへん みせ


155

サイン

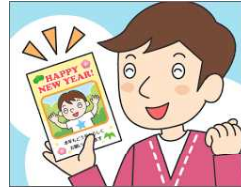
賀

年賀状  
じやうしやう

賀は「喜び祝う」という意味だ



□お正月に年賀状が届いた。



□佐賀県、滋賀県よく似てる。



□開校百周年を祝う祝賀会。



156

サイン

静

静物画

心静かに眺めます  
なが

□静かな秋の夜、読書に親しむ。



□台風が去り、風が静まる。



□落ち着いて冷静に判断する。

はんだん



157

サイン

周

マラソンで

走って一周 校舎の周り  
しや

□先生の机の周りに集まる。



□家の周囲は静かだ。



□駅の周辺にたくさん店がある。





孫

孫生まれ

子孫繁栄

おめでたい



□ おじいちゃんと孫が遊んでいる。



□ 子孫を残すために種ができる。



□ 孫の手で背中をかく。



梅

梅林に咲く梅の花

いい香り



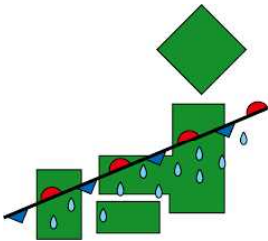
□ 梅干しは酸っぱくて塩辛い。



□ 松竹梅を飾って祝うお正月。



□ 梅雨前線が北上し梅雨になる。



季

春夏秋冬

日本の四季は美しい



□ 季節が春から夏に移る。



□ 夏休みは夏季休業ともいう。



□ 季節外れの台風がやってきた。



158

サイン

孫

孫生まれ

子孫繁栄<sup>はん</sup>

おめでたい



□おじいちゃんと孫が遊んでいる。



□子孫を残すために種ができる。

□孫の手で背中<sup>せ</sup>をかく。

159

サイン

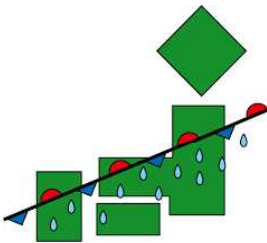
梅

梅林に咲く梅の花

いい香り

□梅<sup>ぼ</sup>干しは酸<sup>す</sup>っぱくて塩<sup>から</sup>辛い。□松竹梅を飾<sup>かざ</sup>って祝うお正月。

□梅雨前線が北上し梅雨になる。



160

サイン

季

春夏秋冬

日本の四季は美しい

□季節が春から夏に移<sup>うつ</sup>る。

□夏休みは夏季休業ともいう。



□季節外れの台風がやってきた。



161

札

札

表札は

名前を書いた札のこと

山田

□学校では名札を付けます。



□一万円札を千円札に両替する。



□駅の改札口を通る。



162

唱

唱

繰り返し

唱えて暗唱

九九練習



3 × 2

□呪文を唱える魔法使い。



□みんなで歌を合唱した。



□好きな詩を選んで暗唱する。



163

岡

岡

岡山県

桃太郎と

きびだんご



□平らで高い台地を「岡」という。



□岡山県の桃は絶品です。



□静岡県はお茶で有名。



161

サイン

札

表札は

名前を書いた札のこと

山田

□学校では名札を付けます。



□一万円札を千円札に両替する。



□駅の改札口を通る。



162

サイン

唱

唱えて暗唱

九九練習

繰り返し



3 × 2

□呪文を唱える魔法使い。



□みんなで歌を合唱した。



□好きな詩を選んで暗唱する。



163

サイン

岡

桃太郎と

きびだんご

岡山県



□平らで高い台地を「岡」という。



□岡山県の桃は絶品です。



□静岡県はお茶で有名。





府

大阪府・京都府  
どちらも近畿地方だ



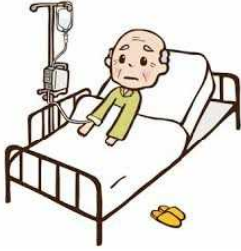
□「府」は役所という意味。



□町や都道府県に伝わる特産品。



□京都府立病院に祖父が入院。

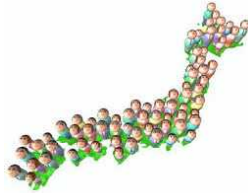


億

一万の一万倍が一億です



□日本の人口は約一億二千万人。  
(二〇二〇年現在)



□銀河系に二千億個の星がある。



□大金持ちの億万長者。



兆

一億の一万倍が一兆です



□ダムの建設に一兆円かかる。



□小さな地震は大地震の前兆。



□噴火の兆候を見せる休火山。



164

府

大阪府・京都府  
どちらも近畿地方だ



□「府」は役所という意味。



□町や都道府県に伝わる特産品。



□京都府立病院に祖父が入院。



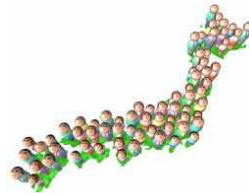
165

億

一万の一万倍が  
一億です



□日本の人口は約一億二千万人。  
(二〇二〇年現在)



□銀河系に二千億個の星がある。



□大金持ちの億万長者。



166

兆

一億の一万倍が  
一兆です



□ダムの建設に一兆円かかる。



□小さな地震は大地震の前兆。



□噴火の兆候を見せる休火山。



令

船長の

命令絶対

守るこ



□ 出発の号令をかける。



□ 消防署の指令で救急車出動。



□ 昭和、平成の後、令和の時代。



令

船長の

命令絶対

守ること



□ 出発の号令をかける。



□ 消防署の指令で救急車出動。



□ 昭和、平成の後、令和の時代。





## 2学期の漢字

たしかめ  
18

87	86	85	84	83
夫	積	協	付	願
夫も科学者のキュリー夫人。	雪が降り積もり、積雪量が過去最高。	赤い羽根共同募金に協力する。	雑誌の付録に付いていたおもちゃ。	祈願とは、願いを込めて祈ること。

たしかめ  
19

92	91	90	89	88
郡	群	標	議	以
町や村が集まって郡になる。	砂糖に群がる蟻の大群。	目標に向かって努力する。	会議を開いて話し合う。	駅まで五分以内で行ける。

たしかめ  
20

97	96	95	94	93
浴	徒	富	管	官
海水浴、泳いだ後でシャワーを浴びる。	駅から徒歩で高校に通う生徒たち。	豊富な石油資源で富を築く。	水道管、水を通す管のこと。	警察官が市内を見回る。

たしかめ  
21

102	101	100	99	98
卒	票	挙	灯	街
六年間の学びを終えて卒業式。	選挙の開票結果を聞く。	手を挙げることを挙手という。	灯台の灯を頼りに船が進む。	街角を明るく照らす街灯。

## たしかめ

18

87	86	85	84	83
おっとも かがくしやの キュリーふじん。	ゆきが 降りつもり、 せきせつりようが 過こさいこう。	あかいはねきようどう募きんに きようりよくする。	雑誌のふろくについていたおもちゃ。	祈がんとは、ねがいを込めて 祈ること。

## たしかめ

19

92	91	90	89	88
まちやむらがあつまってぐんになる。	砂糖にむらがる 蟻のたいぐん。	もくひようにむかつて どりよくする。	かいぎをひらいてはなしあう。	えきまでごふん いないでいける。

## たしかめ

20

97	96	95	94	93
かいすいよく、およいだあとで シャワーをあびる。	えきからとほでこうこうにか ようせいとたち。	豊富なせきゆ資源で とみを築く。	すいどうかん、みずをと おすくだのこと。	警さつかんが しないをみまわる。

## たしかめ

21

102	101	100	99	98
ろくねんかんのまなびを おえてそつぎようしき。	せんきよのかいひようけつ かをきく。	てをあげることを きよしゆという。	とうだいのひを頼りに ふねがすすむ。	まちかどをあかるく 照らすがいとう。

たしかめ

22

107	106	105	104	103
給	争	戦	沖	貨
今日の給食は何だろう。	一着を争い、チームで競争。	戦争は、国と国との戦いだ。	海の沖の方に船が見える。	荷物を積んだ貨物列車が通り過ぎた。

たしかめ

23

112	111	110	109	108
兵	軍	泣	帯	飯
戦で戦う人を兵隊という。	軍手をはめて花壇の花植え。	号泣する選手を見てもらい泣き。	赤みを帯びた土ばかりの砂漠地帯。	昼飯は、ご飯を握った握り飯。

たしかめ

24

117	116	115	114	113
底	浅	景	輪	隊
船の底に穴が開き、海底に沈んだ。	練習を始めてまだ日が浅い。	景気よく花火が上がり、美しい景色。	輪が五つ、五輪のマークはオリンピック。	鼓笛隊が隊列を組んで行進する。

たしかめ

25

122	121	120	119	118
差	置	衣	児	散
交差点の信号が赤になる。	置く位置をよく確かめて設置する。	もう夏だ、涼しい衣服に衣替え。	児童会で遊びの約束を決める。	落ち葉 散る公園の中を散歩する。

## たしかめ

22

107	106	105	104	103
きようのきゆうしよくはなんだろう。	いつちやくをあらそい、チームできようそう。	せんそうは、くにとくにとのたたかいだ。	うみのおきのほうにふねがみえる。	にもつをつんだかもつれっしやがとおり過ぎた。

## たしかめ

23

112	111	110	109	108
いくさでたたかうひとをへい隊という。	ぐんてをはめてか壇のはなうえ。	ごうきゆうするせんしゆをみてもらいなき。	あかみをおびたつちばかりの砂漠ちたい。	ひるめしは、ごはんを握った握りめし。

## たしかめ

24

117	116	115	114	113
ふねのそこに穴があき、かいていに沈んだ。	れんしゆうをはじめてまだひがあさい。	けいきよくはなびがあがり、うつくしいけしき。	わがいつつ、ごりんのマークはオリンピック。	鼓できたいがたいれつをくんでこうしんする。

## たしかめ

25

122	121	120	119	118
こうさてんの信ごうがあかになる。	おくいちをよく確かめて設ちする。	もうなつだ、涼しいいふくにも替え。	じどうかいであそびのやくそくをきめる。	おちばちるこうえんのなかをさんぽする。



127	126	125	124	123
塩	養	栄	単	節
食塩を入れすぎて塩 <sup>から</sup> 辛い。	栄養をしつかり摂 <sup>と</sup> って、体力を養 <sup>う</sup> う。	昔は市場で栄えていた町。	単語の意味を辞書で調べる。	イスの高さを調節する。

132	131	130	129	128
祝	照	省	産	無
祝日は、国で決めたお祝いの日。	室内を明るく照らす照明器具。	一部分を省 <sup>りやく</sup> くことが省略です。	赤ちゃんを産むことを出産という。	水は無色で色が無い。

137	136	135	134	133
不	残	鹿	熊	試
交通が不便な土地に住む。	残飯が残らぬように全部食 <sup>く</sup> べた。	鹿の頭には立 <sup>ぱ</sup> 派な角がある。	山中に熊がいて悲鳴を上げた。	実力を試してみるのが試験です。

142	141	140	139	138
老	未	満	低	冷
年老いて目も耳も老化した。	未だに完成しない未完成のビル。	月が満ち、今夜は満月、十五夜だ。	低い声なので低音のパートを歌う。	冷蔵庫 <sup>ぞう</sup> に麦茶を入れて冷たく冷 <sup>や</sup> やす。

## たしかめ

26

1 2 7	1 2 6	1 2 5	1 3 4	1 2 3
しよくえんをいれすぎてしお辛 <sup>から</sup> い。	えいようをしつかり撰 <sup>と</sup> つて、たいりよくをやしなう。	おかしはいちばでさかえていたまち。	たんごのいみをじしよでしらべる。	イスのたかさをちようせつする。

## たしかめ

27

1 3 2	1 3 1	1 3 0	1 2 9	1 2 8
しゆくじつは、くにできめたおいわいのひ。	しつないをあかるくてらすしやうめいきぐ。	いちぶぶんをはぶくことがしやう略 <sup>りやく</sup> です。	あかちゃんをうむことをしゅっさんという。	みずはむしよくでいろがない。

## たしかめ

28

1 3 7	1 3 6	1 3 5	1 3 4	1 3 3
こうつうがふべんなとちにすむ。	ざんぱんがのこらぬようにぜんぶたべた。	しかのあたまにはりっ派 <sup>は</sup> なつがある。	さんちゆうにくまがいてひめいをあげた。	じつりよくをためしてみるのがしけんです。

## たしかめ

29

1 4 2	1 4 1	1 4 0	1 3 9	1 3 8
としおいてめもみみもろうかした。	いまだにかんせいしないみかんせいのビル。	つきがみち、こんやはまんげつ、じゅうごやだ。	ひくいこえなのでていおんのパートをうたう。	れい蔵 <sup>ぞう</sup> におぎちやをいれてつめたくひやす。

たしかめ

30

147	146	145	144	143
辺	城	改	陸	良
辺の長さが全て等しい正方形。	湖に浮かぶ城といわれた彦根城。	悪いところを改め、良いものに改良する。	飛行機が空港に着陸した。	良いことをしようとする心が良心。

たしかめ

31

152	151	150	149	148
念	側	松	井	菜
試合に負けて残念だ。	右側の側面のドアを開けてみた。	門松は、松竹梅を飾ります。	福井県は、恐竜の化石で有名だ。	菜園に菜の花が咲いていた。

たしかめ

32

157	156	155	154	153
周	静	賀	固	縄
校舎の周りを走って一周する。	静物画、心静かに眺めます。	開校百周年を祝う祝賀会。	水が凍って固くなり、固体になった。	沖縄県で縄文時代の土器発見。

たしかめ

33

162	161	160	159	158
唱	札	季	梅	孫
繰り返し唱えて暗唱、九九練習。	表札は、名前を書いた札のこと。	春夏秋冬、日本の四季は美しい。	梅林に咲く梅の花、いい香り。	孫生まれ、子孫繁栄、おめでたい。

たしかめ

30

1 4 7	1 4 6	1 4 5	1 4 4	1 4 3
へんのながさがすべてひとしいせいほうけい。	みずうみに浮かぶしろといわれた彦ねじょう。	わるいところをあらため、よいものに かいらようする。	ひこうきがくうこうにちやくりくした。	よいことをしようとするところがりようしん。

たしかめ

31

1 5 2	1 5 1	1 5 0	1 4 9	1 4 8
しあいにまけてさんねんだ。	みぎがわのそくめんのドアをあけてみた。	かどまつは、しょうちく梅を飾ります。	ふくいけんは、恐竜のかせきでゆうめいだ。	さいえんになのはなが咲いていた。

たしかめ

32

1 7 8	1 5 6	1 5 5	1 5 4	1 5 3
こう舎のまわりをはしっていっしゅうする。	せいぶつが、こころしずかに眺めます。	かいこうひやくしゅうねんをいわうしゆくがかい。	みずが凍ってかたくなり、こたいになった。	おきなわけんでじょうもんじだいのどきはつけん。

たしかめ

33

1 6 2	1 6 1	1 6 0	1 5 9	1 5 8
繰りかえしとなえてあんしょう、くくれんしゅう。	ひようさつは、なまえをかいたふだのこと。	しゅんかしゅうとう、にほんのしきはうつくしい。	ばいりに咲くうめのはな、いい香り。	まごうまれ、しそん繁えい、おめでたい。



167	166	165	164	163
令	兆	億	府	岡
船長の命令は、絶対 <sup>ぜっ</sup> 守ること。	一億の一万倍が一兆です。	大金持ちの億万長者。	大阪府・京都府、どちらも近畿 <sup>き</sup> 地方。	静岡県はお茶で有名。

1 6 7	1 6 6	1 6 5	1 6 4	1 6 3
せんちようのめいれいは、絶 <sup>ぜつ</sup> たいまもること。	いちおくのいちまんばいがいっちようです。	おおがねもちのおくまんちようじゃ。	おお <sup>さ</sup> 阪 <sup>か</sup> ふ・きようとふ、どちらもきん <sup>きん</sup> 畿 <sup>き</sup> ちほう。	しずおかけんはおちやでゆうめい。

4年生で習う漢字

1	器	31	順	61	競	91	群	121	置	151	側	181	勞
2	倉	32	訓	62	初	92	郡	122	差	152	念	182	極
3	巢	33	種	63	旗	93	官	123	節	153	縄	183	昨
4	覚	34	便	64	最	94	管	124	単	154	固	184	副
5	働	35	利	65	健	95	富	125	栄	155	賀	185	臣
6	失	36	治	66	康	96	徒	126	養	156	静	186	課
7	包	37	観	67	達	97	浴	127	塩	157	周	187	械
8	例	38	察	68	功	98	街	128	無	158	孫	188	香
9	案	39	験	69	敗	99	灯	129	産	159	梅	189	民
10	続	40	好	70	望	100	拳	130	省	160	季	190	勇
11	変	41	飛	71	共	101	票	131	照	161	札	191	信
12	伝	42	関	72	英	102	卒	132	祝	162	唱	192	瀉
13	借	43	博	73	末	103	貨	133	試	163	岡	193	岐
14	求	44	結	74	愛	104	沖	134	熊	164	府	194	阜
15	録	45	果	75	候	105	戦	135	鹿	165	億	195	栃
16	努	46	機	76	折	106	争	136	残	166	兆	196	埼
17	然	47	量	77	的	107	給	137	不	167	令	197	奈
18	類	48	熱	78	必	108	飯	138	冷	168	建	198	滋
19	法	49	清	79	要	109	帯	139	低	169	希	199	阪
20	料	50	漁	80	印	110	泣	140	満	170	梨	200	媛
21	別	51	害	81	刷	111	軍	141	未	171	芸	201	佐
22	参	52	材	82	選	112	兵	142	老	172	茨	202	崎
23	加	53	完	83	願	113	隊	143	良	173	欠		
24	芽	54	約	84	付	114	輪	144	陸	174	仲		
25	司	55	束	85	協	115	景	145	改	175	徳		
26	辞	56	席	86	積	116	浅	146	城	176	径		
27	典	57	位	87	夫	117	底	147	辺	177	鏡		
28	成	58	笑	88	以	118	散	148	菜	178	牧		
29	説	59	特	89	議	119	児	149	井	179	各		
30	連	60	焼	90	標	120	衣	150	松	180	氏		